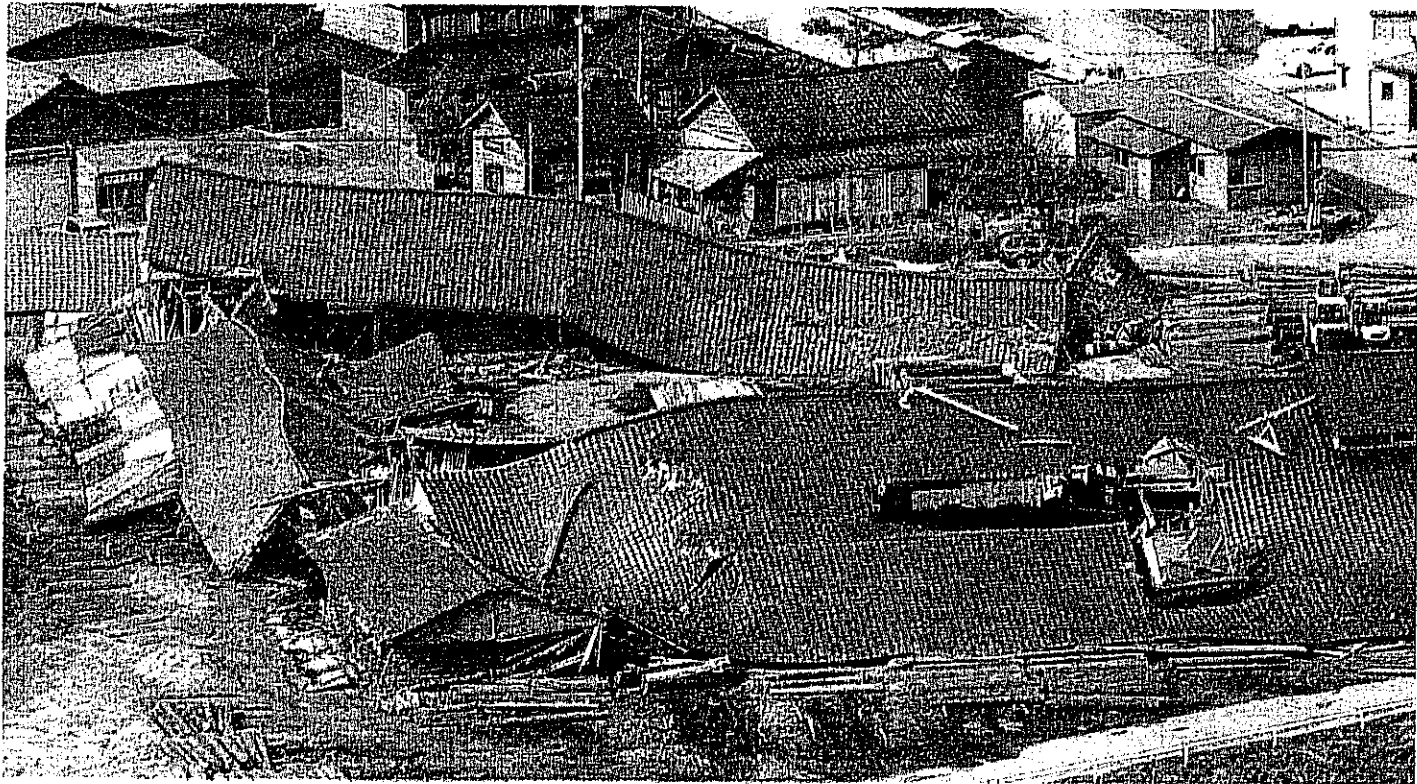


# 能登で震度6強

## 1人死亡191人けが

### M6.9 倒壊多数、余震149回

25日午前9時42分ごろ、能登半島沖を震源とする地震があり、石川県輪島市と七尾市、穴水町で震度6強、同県能登町、志賀町、中能登町で震度6弱を観測するなど、北陸地方を中心に、東海、近畿などの広い範囲で震度3以上を記録した。この地震で、輪島市内の女性1人が死亡、26日午前0時現在の販売新聞のまとめでは、石川、富山、新潟の3県で191人が重軽傷を負い、石川県内で157棟が全半壊した。(関連記事3・7・35・37・38・39面)



気象庁によると、震源は輪島市の南西約30キロで深さは11キロ、マグニチュード(M)は6.9と推定される。

金沢市などの沿岸では最大20センチの津波が観測された。余震も続いており、26日午前0時までに、輪島市で震度5弱を1回、震度4を2回観測するなど、計49回の有感地震を記録。同庁は引き続き余震に警戒するよう呼びかけている。

読売新聞のまとめでは、落ちてきた屋根瓦やブロック塀に当たったり、階段から落下したものが原因とみられる。石川県の志賀町で、約14か所のひび割れや段差が確認されたため閉鎖された。国土交通省によると、能登空港(輪島市)は、滑走路に14か所のひび割れや段差が確認されたため閉鎖された。

ら転落したりして骨折するなどの重傷者は石川県で21人、富山、新潟県で各1人の計23人。輪島市内などで木造家屋など55棟が全壊し、同市の富腰喜代美さん(52)が自宅庭で倒れてきた灯籠に当たり死亡した。石川県では、輪島市を中心に約2500人の住民が公民館などに避難した。政府は25日午前9時45分に官邸対策室を設置し、溝手防災相らを現地に派遣。防衛省は石川県知事の災害派遣要請を受け、陸自第14普通科連隊(金沢市)など約2800人を派遣した。総務省消防庁も緊急消防援助隊の派遣要請を受け、7都府県に出動を指示した。

同県内の高速道路は、土砂崩れや陥没などの被害が計20か所以上で見つかり、能登有料道路の柳田一穴水インター間、能登道の穴水一能登空港インター間などで通行止めが続いた。輪島市では市道が寸断され、4地区の計約300人が一時孤立した。

石川県によると、輪島市など2市3町で計1万3250世帯が断水し、自衛隊や自治体の給水車が出動。同県は厚生労働省と協議のうえ、被害を受けた輪島、七尾など3市4町に災害救助法を適用することを決めた。これにより、国と県が避難所や仮設住宅の設置などの費用を、全額補助する。

原子炉建屋4階にあり、飛散した水は約750万リットルの放射能を含んでいた。人体に大きな影響を与えるレベルではないという。



各地の震度 25日午前9時42分ごろ

主な地域の震度は次の通り。  
▽震度6強 石川県七尾市、輪島市、穴水町▽震度6弱 同県志賀町、中能登町、能登町▽震度5強 同県珠洲市▽震度5弱 新潟県刈羽村、富山県富山市、滑川市、舟橋村、氷見市、小矢部市、射水(いみず)市、石川県かほく市、羽咋(はくい)市、宝達志水(ほうだつしみず)町▽震度4 同県金沢市、小松市、新潟県上越・下越・佐渡、福井県嶺北、長野県北部・中部、岐阜県飛騨▽震度3 山形県庄内・村山・置賜(おきたま)、福島県会津、福井県嶺南、山梨県東部・富士五湖、長野県南部、岐阜県美濃東部・美濃中西部、静岡県中部・西部、愛知県東部・西部、三重県北部、滋賀県北部・南部、京都府北部・南部、大阪府北部、兵庫県北部、鳥取県東部

地震で倒壊した製材所(25日午後3時2分、石川県輪島市門前町道下で、本社へリから)上田尚紀撮影

志賀25歩地殻変動 能登沖の地震による地殻変動について、国土地理院は25日、地球測位システム(GPS)による解析で、石川県志賀町富来が南西方向に約25センチ、穴水町大町が北西方向に約13センチ移動したと発表した。

# 「ドーン」突き上げ

## 能登沖地震

### 最愛の妻が……夫ぼう然 作業中、目の前の灯籠倒れ

地鳴りを響かせて地面が揺れ、道路を寸断し、家屋を押しつぶした。25日午前、北陸地方を襲った最大震度6強の地震。震源地に近い能登半島では、病院に次々と負傷者が運ばれ、避難した住民は相次ぐ余震に身を震わせた。そして、最愛の伴侶を失った夫は、「自らの妻で」と気丈に語った。



道路が土砂崩れで寸断され、避難する住民ら（25日午後4時45分、石川県輪島市門前町深見で）＝里見研撮影

#### おかみさん

自宅の庭で倒れてきた灯籠に当たって死亡した石川県輪島市鳳至町の宮腰喜代美さん(52)は、すし職人の夫、昇一さん(58)の目の前で倒れた。

突然の激しい揺れ。自宅に併設されたすし店内にいた昇一さんは立ち上がらないうち、カウンタートにつかまらず、窓越しに庭を見ると、喜代美さんがひざから崩れ落ちるのを目撃した。

あわてて飛び出し、「喜代美、喜代美」と大声で呼びかけたが、返事はなかった。近くには、高さ約2層の石灯籠が倒れていた。近所の人が車で病院まで運んでくれたが、灯籠が胸に当たって肺がつぶれており、即死状態だった。

2人は約30年前に結婚。喜代美さんは「いらっしやい」と明るく、元気に客を迎える評判のおかみさんだった。子供はなく、毎年秋に夫婦で各地を旅行するのが楽しみ。互いに写真を

撮り合っことが多かった。2年前の秋に訪れた鳥取砂丘では、2人並んで写真を撮り合っこともあった。

この日も朝から夫婦で開店の準備をしていた。地震が起きたのは、喜代美さんがすし飯を入れるおひつを洗い、干そうと庭に出た直後だった。



宮腰喜代美さん(左)と夫の昇一さんは一緒に各地を旅行し、鳥取砂丘でも記念撮影をした＝昇一さん提供

「妻の支えがあったから、今まで頑張れた。最後まで立派なすし屋のおかみ。自慢の妻でした」と、目を真っ赤にしながら語り直した。

輪島市河井町では、寺の本堂が倒壊し、神社の鳥居が崩れ落ちた。家の外に出た住民は「無事だったか」と声を掛け合っ落ってきた。両親がその下

輪島市内には、公民館など2か所に避難所が設けられ、約200人の住民が避難。不気味に揺れる余震に、「キヤー」という悲鳴が上がり、母親は「ここに来なさい」と子どもを抱え込んだ。

同市門前町地区の黒島公民館には、地元住民470人のうち180人が避難。ふすまを取り除いた3部屋で、ひしめくように座ったり、毛布にくるまったりして、不安な夜を過ごした。

地区の役員らがおにぎりやペットボトルの水を配給。断水で

この地震では、石川県が設置した地震計に障害があったため、七尾市内の一部のデータなどが気象庁に入電されなかった。

データがなかった地点のうち、震度5弱以上と推計される観測点は5地点あり、うち2地点は震度6弱だったと見られている。

#### 悲鳴に余震、避難住民

水洗トイレは使えない状態で、簡易トイレ基を用意。高齢者が多いため、福井県立病院救命救急センターのスタッフが駆けつけ、臨時の診療所を開設した。夕方の余震で避難を決めたという主婦(64)は「余震がおさまってこない。不安で怖い」と語った。

#### 震度5強 1週間は要警戒

能登沖地震を受けて、気程度の地震が起きる可能性がある。25日、3回にわたり記者会見を開いた。地震津波監視課の鉢嶺課長は、「揺れがよければ、土砂崩れなどで家屋が倒壊する危険がある。注意を促した。同庁は、「地震機動観測班」を派遣、被害状況などを調査している。

#### 温泉

老舗旅館が立ち並ぶ石川県七尾市の和倉温泉。配管の破損で客室の畳や裏金場のじゅうたんが水浸しになる旅館が目立ち、29軒のうち21軒で営業停止を余儀なくされた。

約1500人の収容客数を誇る「加賀屋」では、「チェックアウトが終わった後で、宿泊客にけががなくてよかった」とホッとした様子。25日は約7500人の予約があったが、従業員らは他の旅館を世話したり、断りの連絡を入れたりするの追われた。同市のまとめでは、予約客約4000人が影響を受けたという。

#### 病院

能登半島各地の病院には、けが人が次々と運ばれた。輪島市の市立輪島病院では、60人を超えるけが人が手当てを受けた。同病院のロビーには約10台のベッドが並べられ、看護師らが応急処置にあたった。多くは、転倒したり、やかんの熱湯でやけどをしたりした人たちが、腰を打撲した同市内の女性(68)は「重い物に行こうと歩いていたら、揺れ始めた。ドーンと突き上げてきて転んでしまった」と話した。